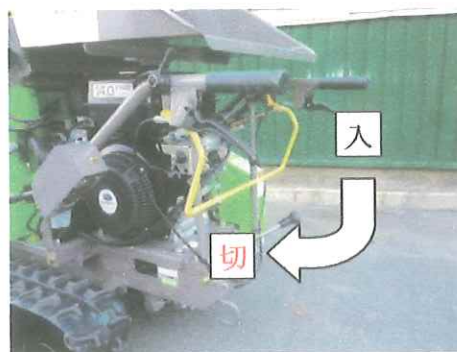
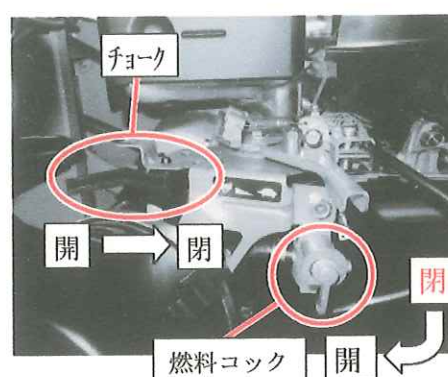
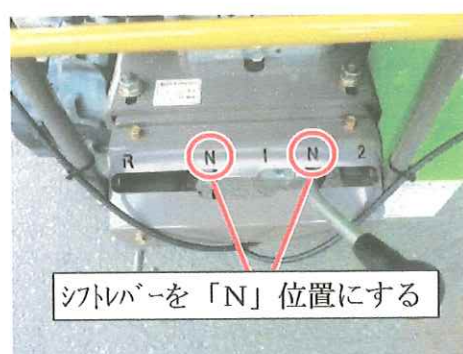


# GS122G/GB 使用手順書

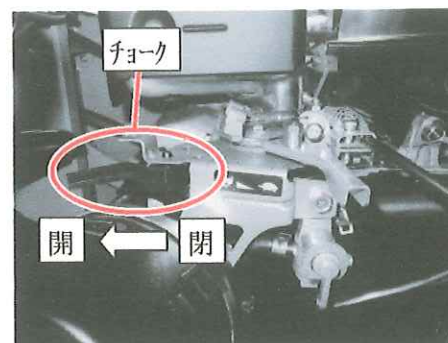
- ① 走行クラッチレバーを「切」位置にします。(駐車ブレーキも同時に入ります。)



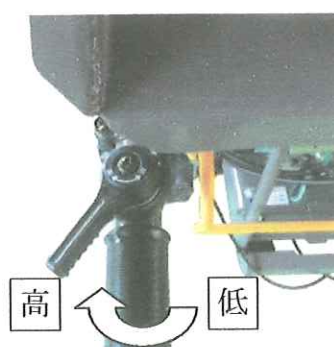
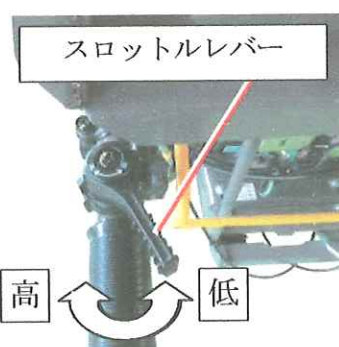
- ② シフトレバーを「N」の位置にし、燃料コックを「開」、チョークを「閉」方向にします。



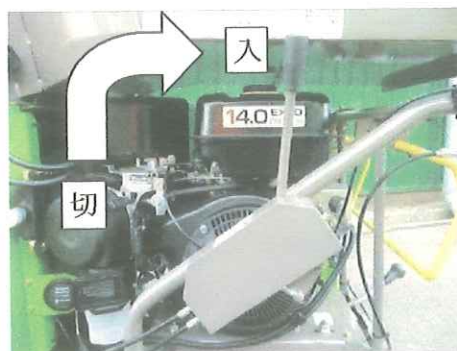
- ③ エンジンスイッチを「ON」方向に回しエンジンをかけます。チョークを「開」方向に戻して下さい。



- ④ スロットルレバーを「低」から徐々に「高」位置にします。(フルスロットルにします)

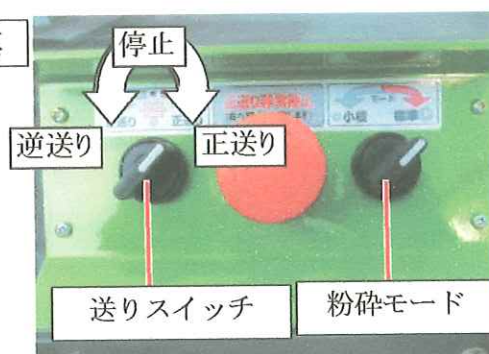


- ⑤ ロータクラッチレバーを「切」からゆっくりと5秒ほどかけて「入」方向へ上げます。



- ⑥ 投入口上部の粉碎モードを「標準」へ、送りスイッチを「正送り」へすると、粉碎作業が出来ます。

投入口上部写真



- ⑦ 作業が終わりましたら、⑥送りスイッチ「停止」→ ④スロットルレバー「低」→ ⑤ロータクラッチレバー「切」の順で、始めの位置に戻し終了してください。

### スクリーン 5mm ・ 8mm 利用時の送り速度調整ダイヤルの仕方

※この操作はGS122GBまたはオプションで送り速度調整ダイヤルを取り付けた場合の操作です。



※5mm ・ 8mm スクリーンをつけた場合のダイヤル調整方法は、送り調整ダイヤルを左方向(遅く)へ全部回し、投入口に直径7cm前後の竹や木を投入し、下記の要領で行ってください。

5mm・・・右方向(速い)へ回していき、竹や木が入りだすところから更に1回転させてダイヤルロックピンで固定します。

8mm・・・右方向(速い)へ回していき、竹や木が入りだすところから更に2回転させてダイヤルロックピンで固定します。

※送りローラが回らないときは、下記に注意してください。



スロットルレバーが「高」位置にありますか



送り調整ダイヤルを遅い方へ回し過ぎていませんか

